第116回 品質管理シンポジウムのご案内

テーマ：

日本の産業競争力向上を実現する これからの品質経営

～ 品 質 経 営 の パ ラ ダ イ ム シ フ ト ～

2023年 11月30日（木）～ 12月 2日（土）

第116回品質管理シンポジウム　主担当

一般財団法人 日本科学技術連盟　理事長　佐々木　眞一

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.

1. 趣 旨

Copyright© 2021 JUSE.

（１）バブル経済に破綻によって明らかになった日本経済の課題

a.　社会やお客様の価値観の中心が、物質的充足から精神的満足へ移行したことへの対応の遅れ

b.　IT革命への乗り遅れ、事務、技術職業務の効率化の遅れ

c.　新興国の技術力向上による製造業の優位性喪失

Copyright© 2022 JUSE.

（２）「品質」に対する経営トップの関心低下

日科技連

品質管理の対象を狭義の品質として捉え、経営トップにとっても、品質が重大な経営の関心事とは認識されなくなった

・**品質は**「モノの出来栄え」ではなく、

「社会や顧客のニーズを満たす度合い」

・国際競争に勝ち抜くため、

「社会やお客様に寄り添いそのニーズの変化を的確に捉えた価値創出を経営方針に反映し、最新デジタル技術とTQMによる効率的な運営力で実行する」

重要性を打ち出し、その経営行動を一般解化したい

Copyright© 2022 JUSE.

（３）現状打破のための日科技連の取り組み

日科技連 日本科学技術連盟

2017年から「顧客価値創造と組織能力向上の両輪を回す必要性」の議論を積み重ねる。

半世紀以上の歴史を誇る「品質管理シンポジウム」にて、
顧客価値創造についての議論を継続（2017年～）

QCS Quality Control Symposium

第104回（2017年6月）：変化に対応できる，変化を生み出せる**組織能力の獲得**
第105回（2017年12月）：**顧客価値の創造**活動と品質経営力のさらなる強化
第106回（2018年6月）：お客様第一を追求する**新価値創造**の強化
第107回（2018年12月）：**顧客価値創造**に貢献できる品質に拘り続ける組織と人材育成
第108回（2019年6月）：産業競争力のさらなる向上を狙った**品質経営活動**の強化
第109回（2019年12月）：**顧客価値創造**と**組織能力強化**の連携による
企業存在価値の最大化

第109回では，これまでにQCSで議論　してきた内容を踏まえ，
「これからの品質経営の在り方」について議論を深め，
日本が国際競争に勝ち残っていくための取組，方向性を議論した。

→ 「令和大磯宣言」を発出(後記参照)

Copyright© 2022 JUSE.
Copyright© 2021 JUSE.

（３）現状打破のための日科技連の取り組み

日科技連

大久保、坂根、佐々木により、
「品質経営懇話会」を立ち上げ（2017年）

品質経営懇話会

コマツ　坂根正弘氏

ビジネスモデルで先行し、
現場力勝負に持ち込む！

- ✓ 経営トップの関心事として「品質」を広義に捉え,「品質経営」を実践するトップの経営と品質に関する議論の場とする。
- ✓ 経済が低成長下の中でも業績を向上させている優良企業からの学びを得る。
- ✓ 優良企業に共通する企業経営戦略の仮説を以下として実証。

Copyright© 2021 JUSE.

（３）現状打破のための日科技連の取り組み

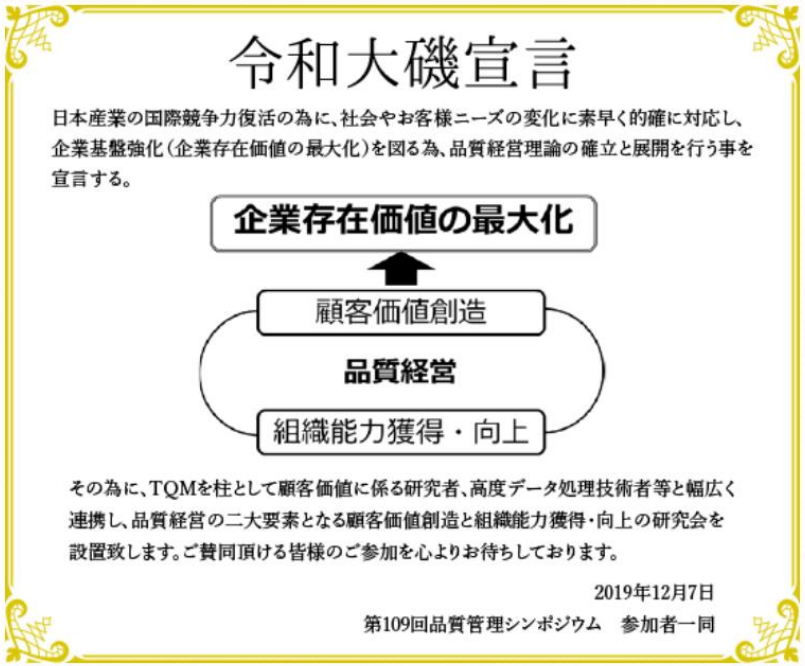
日科技連 日本科学技術連盟

B. 大久保、坂根、佐々木により、「品質経営懇話会」を立ち上げ（2017年）

品質経営懇話会

- ✓ 即ち、国際的産業競争に勝ち抜く方策は、「社会やお客様に寄り添いそのニーズの変化を的確に反映した価値創出を経営方針に反映し最新のデジタル技術と鍛え上げたTQMによる効率的な運営力で実行する」こととして、その具体的な経営行動をヒアリング。

- ✓ その成果の一部として、第109回品質管理シンポジウム（QCS）にて「令和大磯宣言」を発出。



令和大磯宣言

日本産業の国際競争力復活の為に、社会やお客様ニーズの変化に素早く的確に対応し、企業基盤強化（企業存在価値の最大化）を図る為、品質経営理論の確立と展開を行う事を宣言する。

企業存在価値の最大化

顧客価値創造

品質経営

組織能力獲得・向上

その為に、TQMを柱として顧客価値に係る研究者、高度データ処理技術者等と幅広く連携し、品質経営の二大要素となる顧客価値創造と組織能力獲得・向上の研究会を設置致します。ご賛同頂ける皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2019年12月7日

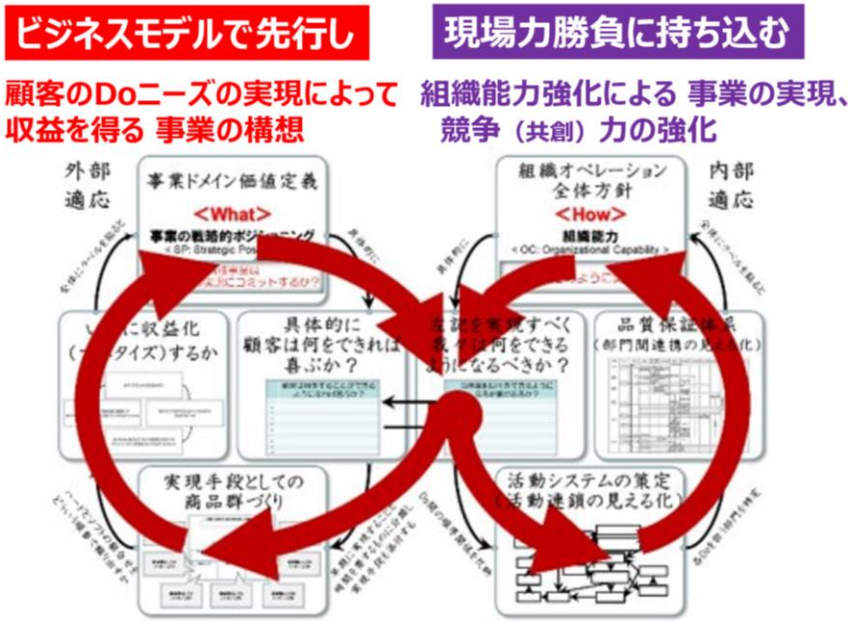
第109回品質管理シンポジウム　参加者一同

Copyright© 2021 JUSE.

（３）現状打破のための日科技連の取り組み

「JUSE-エグゼクティブセミナー」の開講（2019年）

- ✓ コマツで成果を上げてきたブランドマネージメント活動とコト価値創出のための新しいTQMの適用を融合させ、講師陣にビジネス研究者を加え、新たなビジネスモデル創出と組織能力開発に関する経営層対象のセミナーを開講。
- ✓「品質経営研究会」（後述）へセミナーの実施による成果や改善点のフィードバックも行う。



Copyright© 2021 JUSE.

（３）現状打破のための日科技連の取り組み

日科技連

「品質経営研究会」の設立（2019年）

- ✓ エグゼクティブセミナーの企画委員を中心に、
  品質経営懇話会のアウトプットを一般解化し
  品質経営の要素として確定し形式知として残す。
- ✓ エグゼクティブセミナーのアップグレードに役立てる。
- ✓ 最終的には新たな時代のTQMとしてコト価値の創出、
  保証の手法として確立し新セミナー開講や書籍の発行を行う。

Copyright© 2021 JUSE.

116QCSテーマの骨子

現状

日本の国際競争力の低下、経営者の品質に対するプライオリティの低下

●国際競争力ランキング31位/63ヵ国中　●国際デジタル競争力ランキング28位/63ヵ国中

●様々な組織で、品質不正、不祥事が頻発　●顧客価値創造を実現できず、コモディティ化の波へ

要因

外部適応

1.競争環境の変化

・欧米・アジアのスタートアップ企業台頭

・中国政府によるニューインフラ建設の加速

2.市場環境の変化

・Withコロナ、カーボンニュートラル(SDGs)、・・・・・・

内部適応

1.デジタル化の遅れ

・ビッグデータ活用、デジタル人材のグローバル化、企業の変化迅速性は調査対象国の中で最下位

2.日本の現場力の課題

・働き方、多様化→一体感低下、技術伝承問題

やるべき事

顧客価値創造

◆顧客、バリューチェーン全体との協創による潜在的価値の発見とその実現のための顧客プロセス変革

◆攻めのQMSに向けた、顧客価値創造のための各部門のあり方と連携

データを活用した早くて正確な現状把握に基づく顧客価値創造

◆顧客体験価値　⇒　組織として再現性を持つ

組織能力獲得・向上

◆「自社の組織」にとどまらず、顧客やパートナも含めた「バリューチェーン全体」の組織能力向上

◆自社プロセスとDX化された顧客プロセスに応える自社プロセスの再構築

◆顧客価値創造に必要な組織能力の開発

◆TQMの再活用

デジタル技術を活用した新たなTQM活動の実践による組織能力強化

GD

これを如何にして実現するか、講演、GD、総合討論を通じて議論

狙い

日本がグローバル競争で勝つ続けるため「これからの品質経営」を発信

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.

2．プログラム

Copyright© 2021 JUSE.

＜特別講演＞　11月30日(木) 19:00~20:10

【テーマ】

勝ち続ける「仕組み」をつくる伝統の技のイノベーション
～挑戦を続ける獺祭の逆境経営～（仮題）

桜井　博志　氏
旭酒造株式会社　代表取締役会長

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.

講演(題名は仮)

＜基調講演＞　12月 1日(金) 9:50~10:40

これからの品質経営の在り方

佐々木　眞一　氏
一般財団法人　日本科学技術連盟　理事長、
トヨタ自動車　元副社長
（日本科学技術連盟　品質経営研究会　委員長）

＜講演１＞　12月 1日(金)

コト価値創造のステップ、
コト価値品質保証の実施方法の提案

小野寺 昭則　氏
㈱EARTHBRAIN　代表取締役社長

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.

講演(題名は仮)

＜講演２＞　12月 1日(金)

顧客プロセス変革と自社プロセス変革の両輪で進める品質経営の在り方

加藤　雄一郎 氏
名古屋工業大学　産学官金連携機構　プロジェクト教授

＜講演３＞　12月 1日(金)

ジェイテクトにおける顧客価値創造への挑戦
～部品メーカーがコトづくりに挑むための組織、体制づくりと実践～

佐藤　和弘　氏
ジェイテクト㈱　代表取締役社長

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.

講演(題名は仮)

＜講演４＞　12月 1日(金)

竹中工務店における「ホスピタリティデザイン」の取組み
～竹中工務店における究極のコト価値開発、
設計デザイン業務の変革～

㈱竹中工務店　執行役員　原田 哲夫

＜講演５＞　12月 1日(金)

日科技連「品質経営研究会」からの提言
（BMストーリー、顧客価値創造と組織能力のマトリックス、マネタイズ進化系等）

鈴木 浩佳　氏
トヨタ自動車㈱　モノづくり開発統括部 主査
日本科学技術連盟　「品質経営研究会」委員

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.

3．グループ討論、総合討論

Copyright© 2021 JUSE.

116QCS　GDテーマ候補（案：検討中）：

①【トップ向け】企業の存在価値最大化を目指す品質経営行動

②コトの価値創造という観点からみた、新規事業開発

③「顧客の成長をタイムリーに共創する」という視点に立脚した、営業と開発の連携

④攻めのQMSに向けた、品証と企画・設計の連携

⑤顧客価値創造起点の中期経営計画の在り方

⑥事業構想を確実化するための、戦略人事とTQM推進部門の連携

⑦「製品のサポート」と「顧客のサポート」の違いを踏まえたサービス品質の在り方

⑧パーパスを合わせる部門間対話

⑨顧客価値創造に必要な組織能力を開発するための必要要件

⑩事業構想を確実化するための、方針管理と日常管理の使い分け

⑪事業構想を確実化するために、いかにPDCAとOODAを使いこなすか

Copyright© 2021 JUSE.

第116回 品質管理シンポジウム

日程　2023年11月30日(木)～12月2日(土)
場所　大磯プリンスホテル

皆様のご参加をお待ちしております

Copyright© 2023 JUSE. All Rights Reserved.